

人のご縁で  
でっかく  
生きろ！

南クロフネカンパニー代表

中村 文昭

僕が師匠から教わったスピリッツの二つ目は「頼まれごとを試され」ということです。

「世の中の人は、頼まれごとは面倒なことと思っている。けどな、人はお前に出来ないことは絶対に頼んでこない。だから、何か頼まれたら、『今僕を試してみますね？』と思っ、何でも『ハイッ』と言え。そして頼んだ相手の予想を上回る結果を出してびっくりさせてやれと言っんです。

三つ目は、頼まれたときに注意することなんですけど、「出来ない理由を言うな」です。みんな「私は忙しいです」とか、すぐ出来ない理由を言うんです。やってもらえないうちから。

「3年後に自分の店を出したい」という人が、「でもなあ金がないし、反対されるし……」って、ああだこうだ言う。やるんだつたら出来ない理由は言わずに動き出せです。

四つ目は、「そのためには今出来ることから始めろ」です。

## 目の前の人をとにかく喜ばすことです

◇11◇

「夢を叶えられない人の一番の原因は、出来ない理由ばかり説明していて、何もやらずに生きていくということだ。」

□ ■ ■ ■ □

友達と居酒屋で酒飲んでいると、「でもさあ〜」って言う人、いっぱいいます。そういう人は家に帰って

も「出来ない理由」を言うんですよ。だから、その家の子どもは、そのお父さんの言葉を聞いて育ちますから、やる前から動こうとしない若者が今多いんです。

この前、偏差値がめちゃくちゃ低い高校に講演に行きました。誰も聞こうとしないんです。完全にバカにしてました。僕はこんな話をしました。

「よう分かるわ。俺もそんなんやっ。俺も高校のとき、諦めていた。学力で比べられたら俺はいつもアホやった。けどな、学力で比べられるのは高校で最後や。社会に出たら学力なんて関係ない。必要なのは人間力だよ。『あんたが売っている商品を買いたい』と言ってもらえる力

は学力じゃないんだよ」

「悪いことばっかりやって、先生から『頼むからお前、もう学校に来ないでくれ』と言われていた俺が、今は全国の学校から講演に来てくれ』って言われてるんや。読書感想文も書いたことのない俺が今本を書いてベストセラーになってるやぞ。人生、笑うやろ？」

こんな話もしました。

「お前ら、スタートラインは低い。俺と一緒に。でもな、高校卒業して、どんな仕事に就いても、そこで『0.2秒の返事』をやってみて。『頼まれごとは試されごと』と思っ、頼んだ相手の予想を上回る結果を出してみ。そしたらな、先輩たちはひるむぞ。『何だこいつ。こんなに育て甲斐のある奴に久しぶりに会った』って教え方が変わってくる。この四つのことをやれば、ものすごい人間力が付く」

一番大事なことは、とにかく目の前の人を喜ばすことです。

僕は高校時代、「お前じゃだめだ」って言われていました。でも今は、「お前じゃなきゃだめだ」って言われています。それが人間力です。

(高鍋西都法人会が主催した講演会にて)